

浄化槽工事写真の撮り方(参考)

※令和6年度より、別紙【浄化槽工事写真撮影(参考)】を作成しましたので

チェックリストに沿って撮影及び提出をお願いします。

※写真が不鮮明な場合は再提出をお願いする場合があります。

工事着手前

写真(着手前)



写真撮影のポイント

- ・浄化槽の設置場所を明確にし、周辺状況が分かるよう撮影してください
- ・浄化槽設備士が正面を向き、顔がはっきり分かるようにしてください。
- ・標識・工事看板と一緒に撮影してください。

標識(様式第8号)

浄化槽工事業者登録票	
氏名又は名称	
代表者の氏名	
登録番号	
登録年月日	
浄化槽設備士の氏名	

標識(様式第9号)

浄化槽工事業者届出済票	
氏名又は名称	
代表者の氏名	
届出番号	知事(届)第 号
登録年月日	年 月 日
浄化槽設備士の氏名	

標識の掲示は国土交通省「浄化槽工事業に関わる登録等に関する省令第9条」に定める別記様式第8号・同9号による。

床堀(床付け)完了

写真(床付け完了状況)



工事施工のポイント

- ・土砂が崩壊しないように、関係法令等(労働安全衛生規則等)に従い、適切に施工してください。
- ・掘りすぎないように注意して掘削してください。
- ・床付け面は、平らに整形してください。
- ・地下水等がある場合は、状況に合った適切な排水処理をしてください。

写真撮影のポイント

- ・丁張り(または既設構造物等の動かないものを基準高とする。土の地面を基準高にはしないでください。)から床付けまでの深さが確認できるようにしてください。
- ・床付け面の長さ、幅がしっかり確認できるようにしてください。
(目盛りが見えづらい時は、近接撮影を追加してください。)

割栗地業(基礎碎石)完了

写真(基礎碎石仕上り状況 例1)



工事施工のポイント

- ・基礎碎石は、割栗石(大きさ45mm内外の碎石)、栗石、山砕等を地盤の状況に応じて適切に地業を行ってください。
- ・床付け面の転圧後、割栗石を敷き詰めた上から碎石(砂利)を撒いて、さらに転圧を十分に行ってください。
- ・仕上りの厚みは、必ず10cm以上を確保してください。(50人槽以下は、10cm以上と決められています。)

写真撮影のポイント

- ・仕上り厚さが確認できるように撮影してください。(床堀完了時の基準高から転圧完了施工面までの深さで厚さを
出すことも可能です。**目盛りが見えづらい時は、近接撮影を追加してください。**)
- ・機械転圧作業を行っていることが確認できるようにしてください。

写真(基礎碎石仕上り状況 例1)



捨てコンクリート完了

写真（捨てコンクリート打設状況 例1）



写真（捨てコンクリート打設状況 例2）



工事施工のポイント

- ・捨てコンクリートの厚みは必ず5 cm以上を確保してください。（50人槽以下は、捨てコンクリートの厚さ5cm以上コンクリート設計基準強度15 N/mm²以上と決められています。）
- ・十分な養生期間をとってください。
- ・PC板を使用する場合、捨てコンクリート施工の有無はどちらでも問題ありません。

写真撮影のポイント

- ・仕上り厚さが確認できるように撮影してください。（床掘り完了時の基準高から施工面までの深さで厚さを出すことも可能です。目盛りが見えづらい時は、近接撮影を追加してください。）

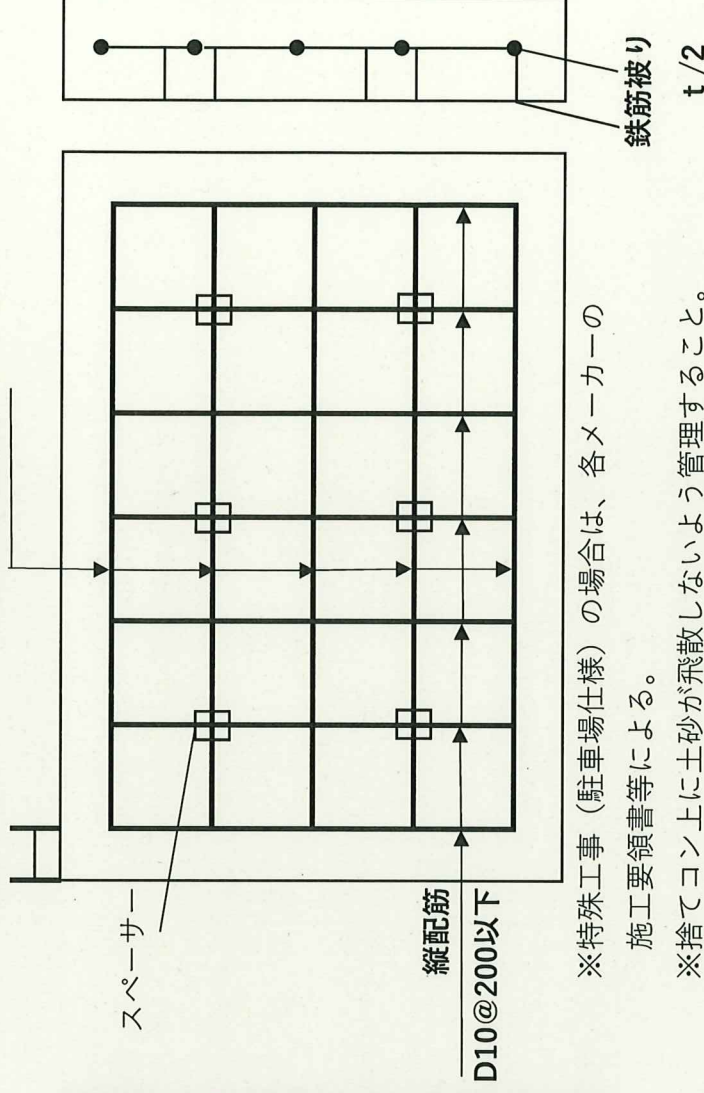
基礎コンクリートの配筋状況(現場打)

基礎コンクリート配筋(一例)

CO・鉄筋被り 横配筋

50以上 D10@200以下

写真(基礎コンクリート配筋状況)



※特殊工事(駐車場仕様)の場合は、各メーカーの
施工要領書等による。

※捨てコン上に土砂が飛散しないよう管理すること。

工事施工のポイント

- ・現場打ち基礎コンクリートの広さは、浄化槽外形寸法より大きくし、捨てコンクリート施工寸法より小さくしてください。
- ・基礎コンクリートの厚さは、10 cm以上を確保してください。(50人槽までの個人設置型の場合は、基礎コンクリート厚さ10 cm以上、コンクリート設計基準強度18 N/mm²以上、スランプ18 cm以下と決められています。)
- ・配筋は、異形鉄筋10 mmを200 mm間隔(シングル)で組み立て、必ずスペーサーを設置してください。(右上配筋図参照)
- ・十分な養生期間をとってください。

写真撮影のポイント

- ・鉄筋の間隔がスケール等で確認できるようにしてください。(鉄筋が全部写るようにしてください。目盛りが見えづらい時は、近接撮影を追加してください。) また、スペーサーが写るように撮影してください。

基礎コンクリート完了状況(現場打)

写真 (基礎コンクリート仕上がり状況)



写真撮影のポイント

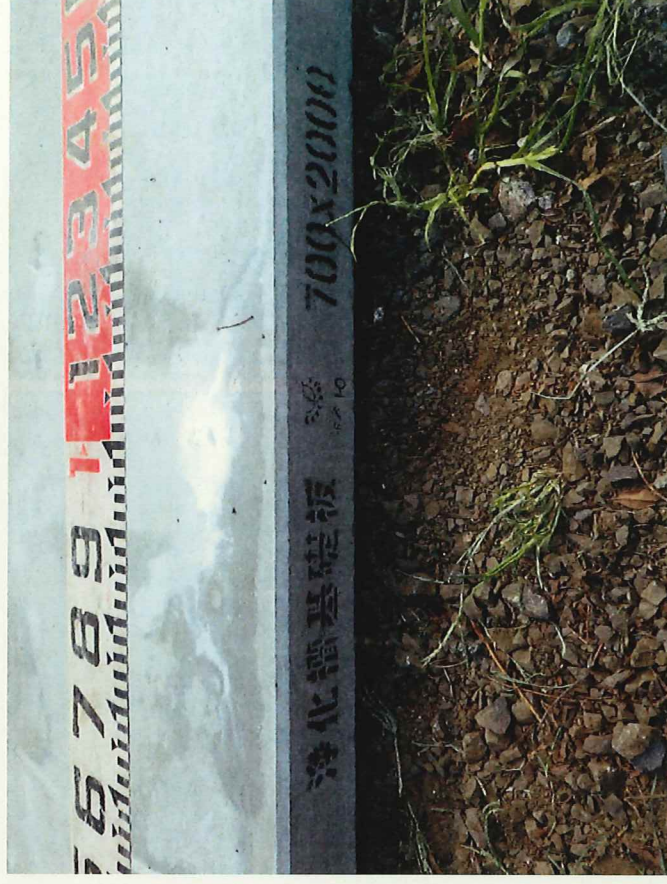
- ・仕上り長さ、幅、厚さが確認できるようにしてください。(床掘り完了時の基準高から仕上り面までの深さで厚さを出すことも可能です。目盛りが見えづらい時は、近接撮影を追加してください。)
- ・撮影時には型枠は脱却してください。
- ・1枚の写真で全体が写らない場合は、数枚に分けて撮影してください。

プレキャスト製品寸法確認(PC板)

写真 (PC板寸法確認)



写真 (PC板規格接写)



写真のポイント

- ・使用製品の寸法・厚さが確認できるように撮影してください。(目盛りが見えづらい時は、近接撮影を追加してください。)
- ・PC板を設置する前に撮影してください。(堀山の中だけでなく広い場所や、搬入場所で撮影)
- ・1枚の写真で全体が写らない場合は、数枚に分けて撮影してください。

プレキャスト製品設置状況(PC板)

写真 (PC板設置状況)

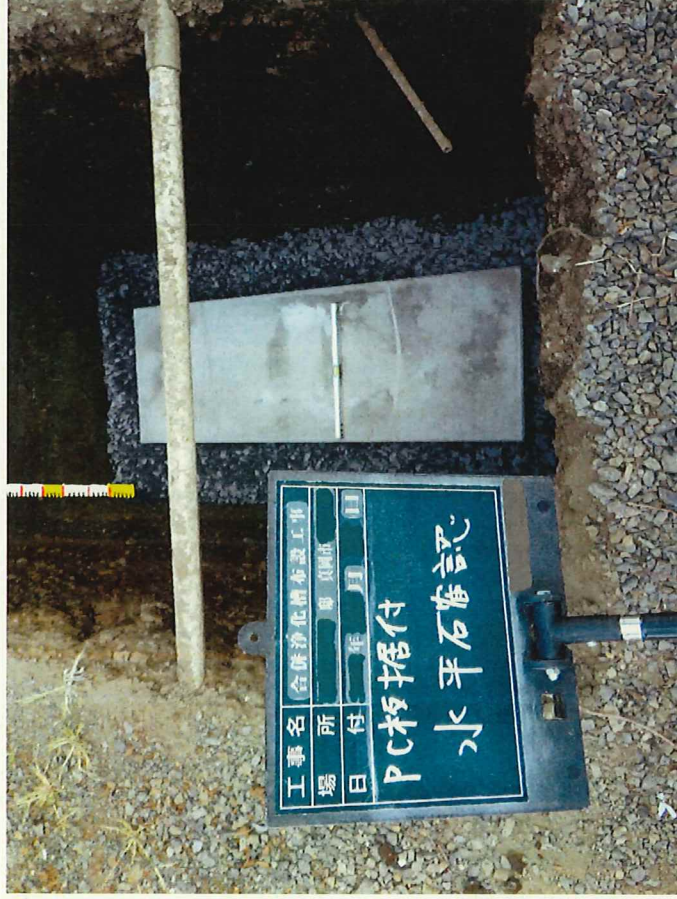


写真 (PC板水平確認)



写真のポイント

- ・使用製品の水平設置が確認できるように撮影してください。(水平器内部の気泡が見えづらい時は、近接撮影を追加してください。)
- ・1枚の写真で全体が写らない場合は、数枚に分けて撮影してください。

浄化槽本体の搬入状況

写真(浄化槽本体搬入の状況)



写真撮影のポイント

- ・現場への浄化槽搬入状況、本体に明記されているメーカー、型式、人槽等が確認できるようにしてください。

浄化槽の据付・水張り状況

写真（据付状況）

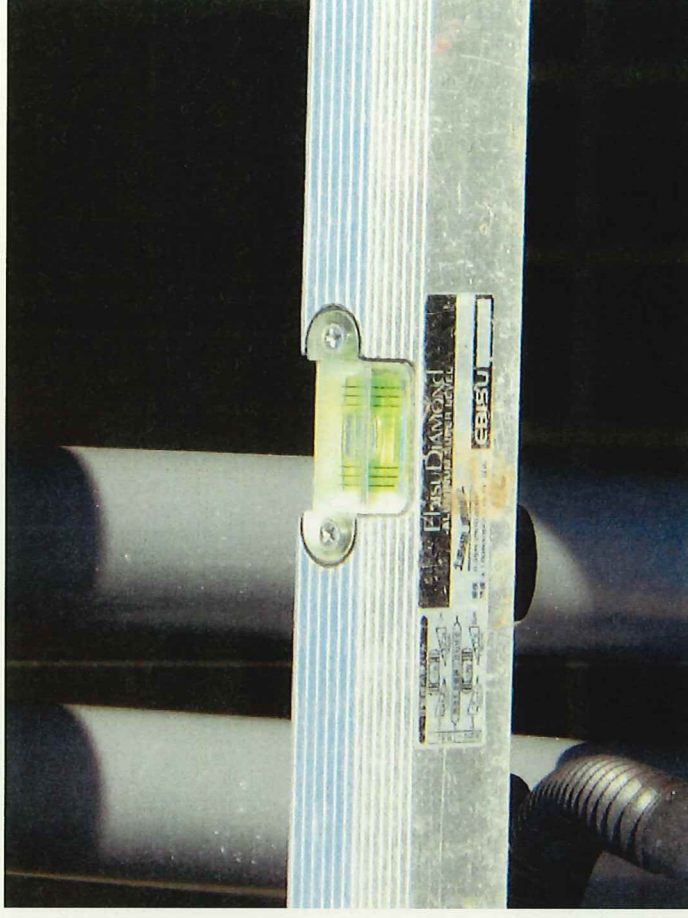


写真のポイント

- ・埋戻し前（中）の水張り、水平確認による作業（水平状況が確認できる水平器のアップの撮影）が確認

できるようにしてください。

写真（水平器接写の一例）



浄化槽の埋戻し状況

写真（水締め状況）



写真のポイント

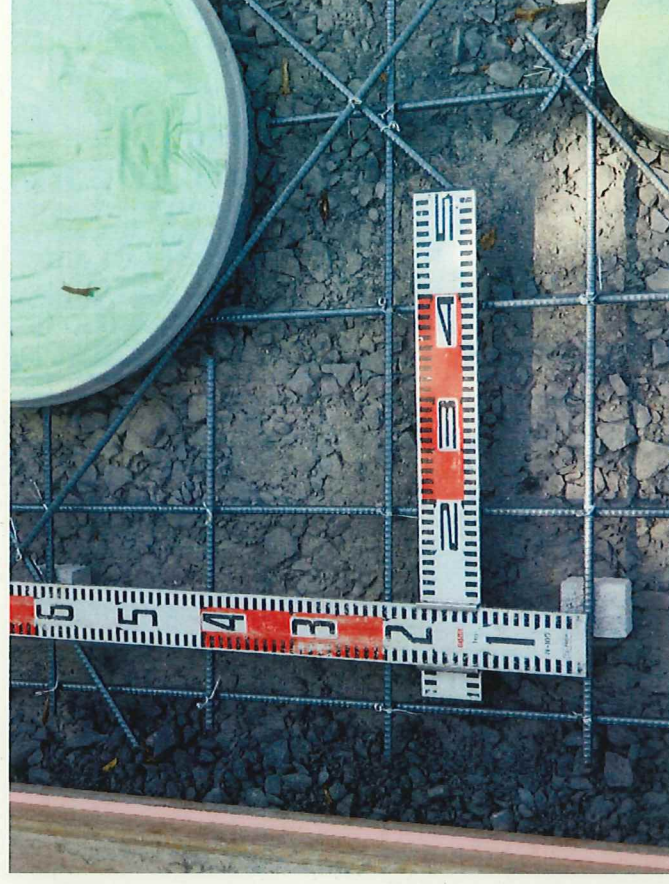
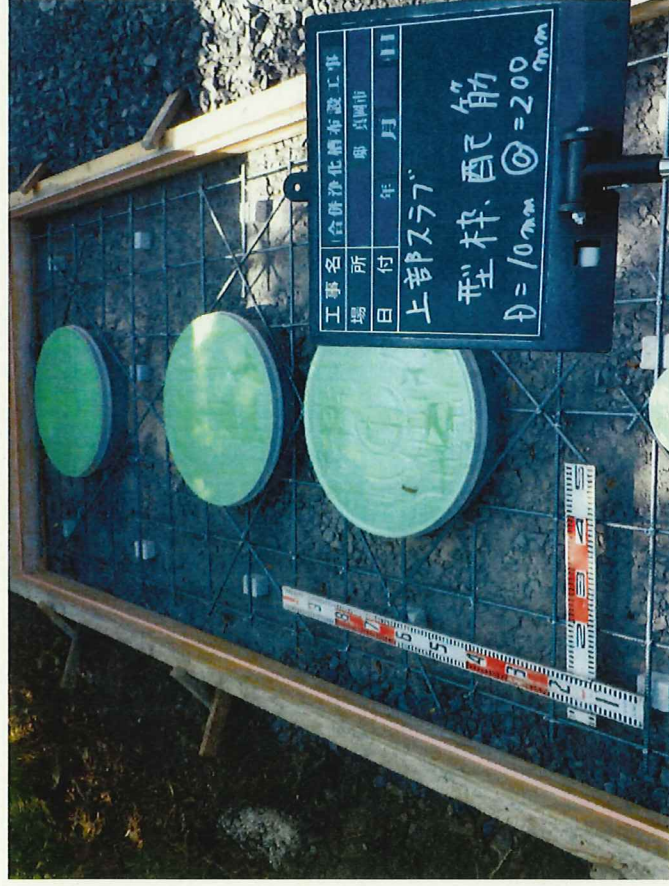
- ・埋戻し状況として、**水締め**及び**機械転圧状況**が確認できるようにしてください。

写真（埋戻転圧状況）



上部スラブコンクリートの配筋状況

写真（上部スラブコンクリートの配筋状況）



工事施工のポイント

- ・ 上部スラブは、原則として地盤面より3 cm以上高くする等雨水の流入防止策を講じてください。
- ・ 上部スラブコンクリートの仕上り厚さは、10cm以上を確保してください。
- ・ 上部スラブ天端上の雨水が流れるよう表面に勾配を付けてください。
- ・ 配筋は異形鉄筋10mmを200mm間隔（シングル）で組み立て、必ずスペーサーを設置してください。
- マンホール開口部には周囲に補強筋を施してください（開口部補強筋については、適切に施工してください。）
- ・ 十分な養生期間をとってください。（5日間）

写真撮影のポイント

- ・ 鉄筋間隔について、スケール等で確認できるようにしてください。（鉄筋が全部写るようにしてください。目盛りが見えづらい時は、近接撮影を追加してください。）

上部スラブコンクリートの完成状況

写真（上部スラブコンクリート仕上り状況）



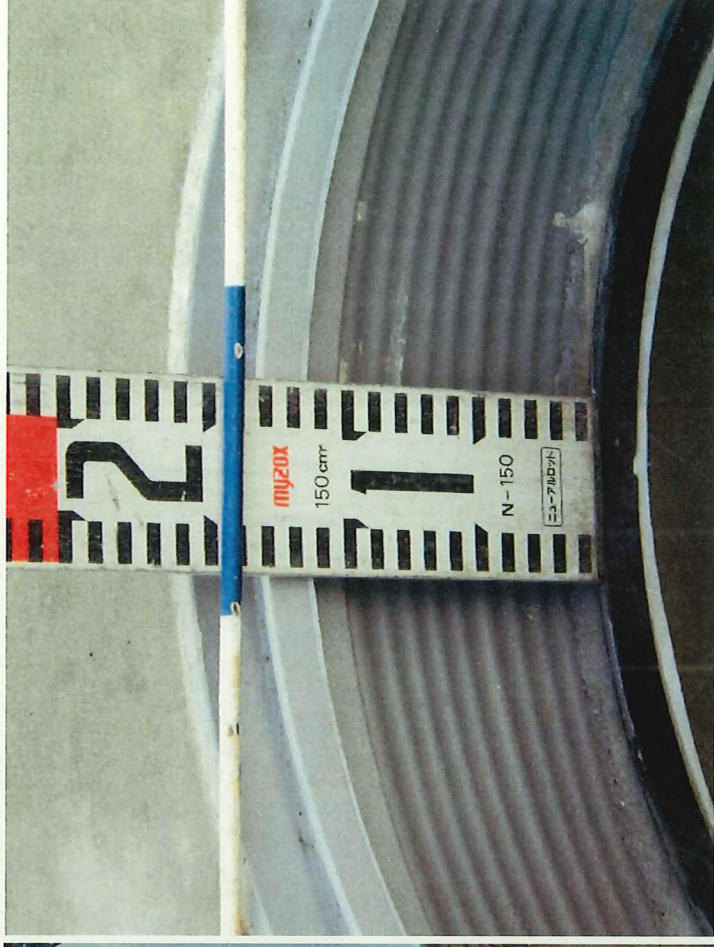
写真撮影のポイント

- ・仕上り長さ、幅、厚さが確認できるようにしてください。

マンホール蓋の嵩上げ状況

(嵩上げが必要な場合)

写真 (マンホール嵩上げ状況)



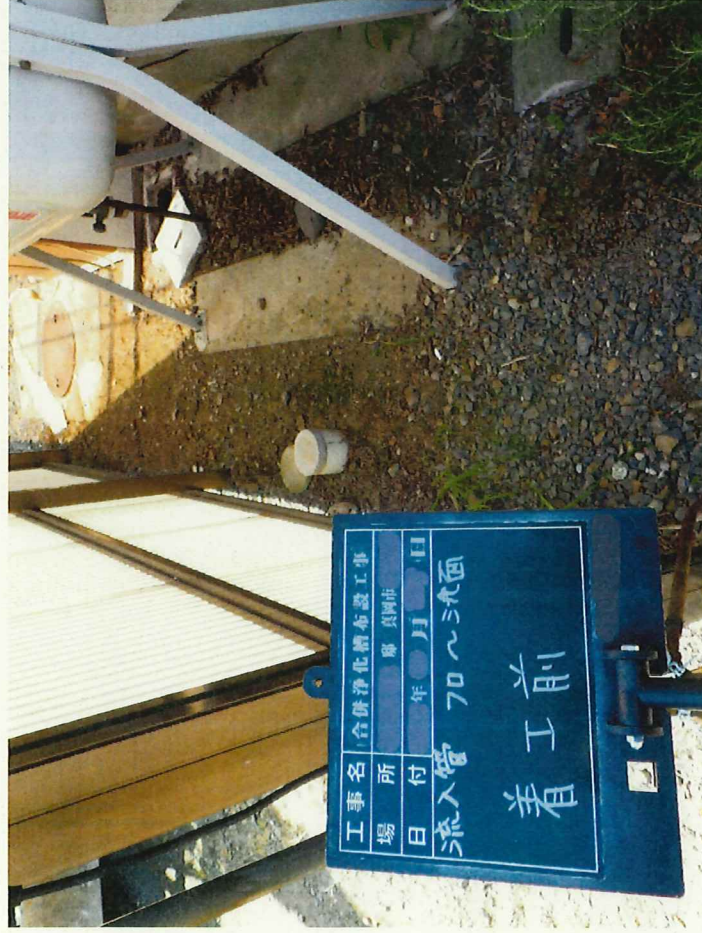
写真撮影のポイント

- ・スケール等で嵩上げ高が確認できるようにしてください。(嵩上げ高は、30cm以内としてください。30cm以上になる場合は、ピット構造にしてください。)

宅内配管写真No.1

(宅内配管補助を申請した場合のみ)

写真 (宅内配管設置状況)



写真のポイント

- ・ 浄化槽本体同様に配管前の写真も撮影してください。
- ・ 台所、トイレ、風呂、洗面所等の設置した全ての排水桝を撮影してください。

宅内配管写真No.2

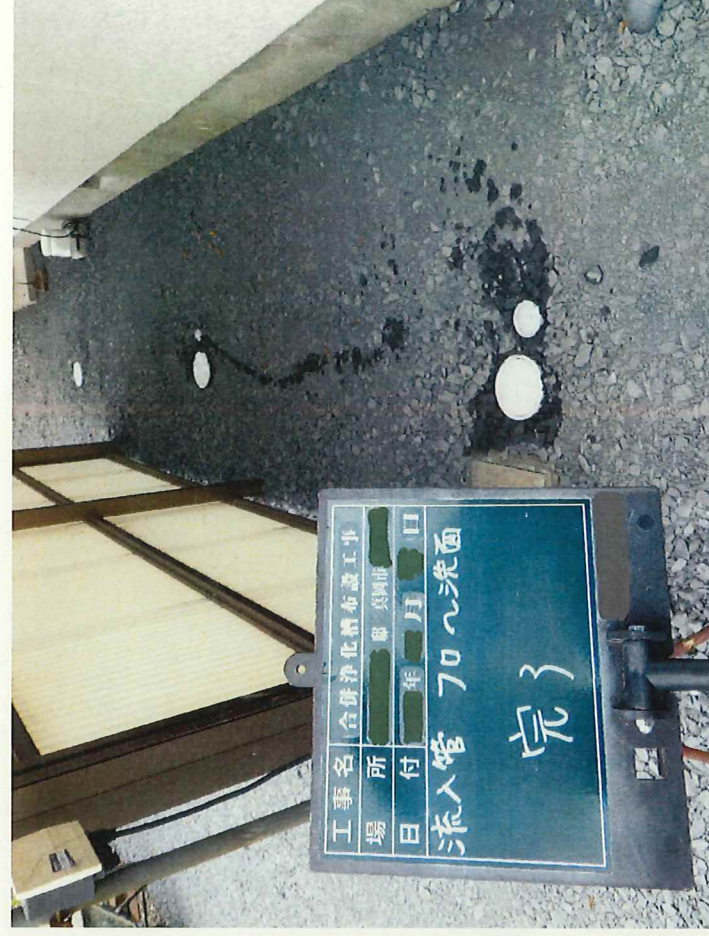
(宅内配管補助を申請した場合のみ)

写真 (宅内配管設置状況)



写真のポイント

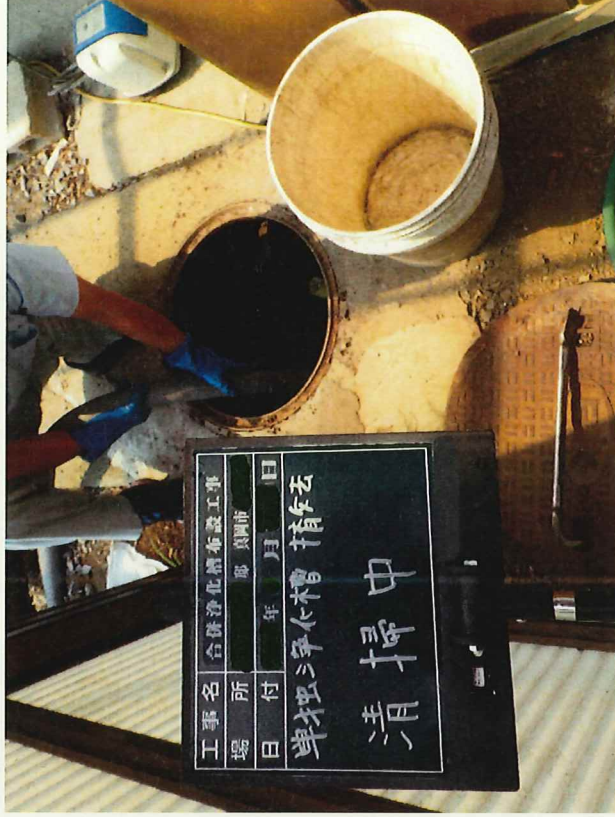
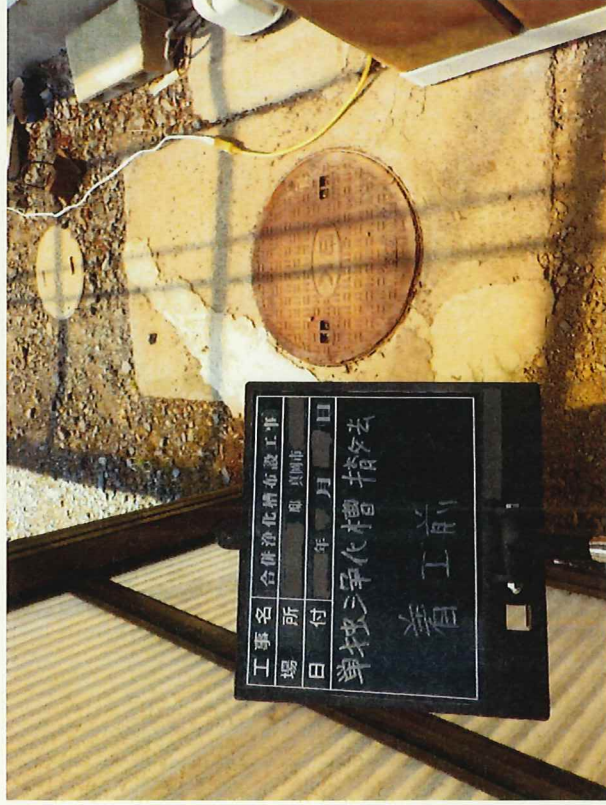
・工事完了後の全景写真を撮影してください。(2枚以上の撮影でも可)



撤去写真No.1

(単独浄化槽・汲取り槽撤去費補助を申請した場合のみ)

写真 (単独槽・汲取り槽撤去状況)



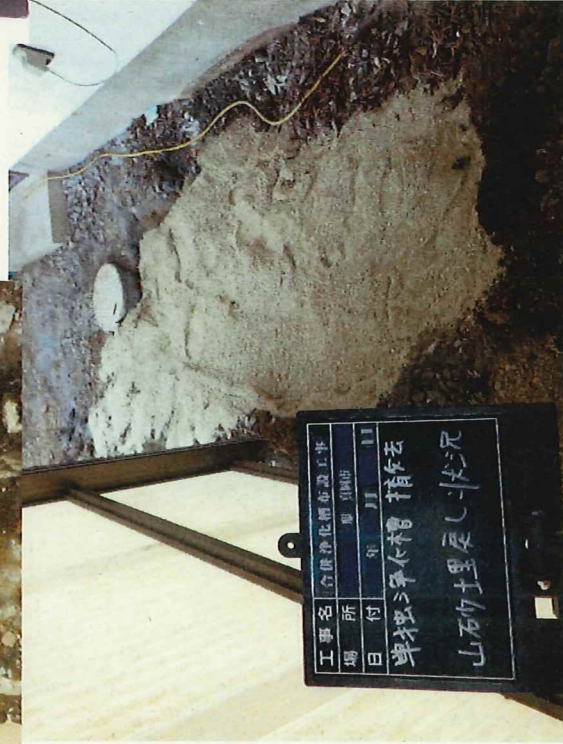
写真のポイント

- ・撤去前に全景を入れて撮影してください。し尿の引抜状況を撮影してください。(P17)
- ・撤去中、撤去物（掘起こし後、撤去物全体が写るように撮影してください。）(P18)
- ・撤去後の現場写真（掘起こし後及び埋戻し後の2枚必要です。）(P18)
- ・運搬中（トラックに積載後撮影）、中間処理施設（処理施設の看板と運搬車が納まるように撮影）(P19)
- ・撤去物の荷下ろし（処理施設に荷下ろしした状況が分かるように撮影）(P19)

撤去写真No.2

(単独浄化槽・汲取り槽撤去費補助を申請した場合のみ)

写真 (単独槽・汲取り槽撤去状況)



撤去写真No.3

(単独浄化槽・汲取り槽撤去費補助を申請した場合のみ)

写真 (単独槽・汲取り槽撤去状況)



放流先写真

写真（放流先接続状況）



写真のポイント

- ・上記写真は排水路への接続写真です。敷地内処理装置の場合は（施工前・施工中・施工後）の写真を撮影してください。（複数枚でも可）

ブロワ設置状況

写真（設置状況）



写真撮影のポイント

- ・接写を含めブロワに、維持管理業者の氏名・連絡先を貼付してください。

完成写真

写真（完成状況）



工事施工のポイント

- ・ 残土処理、廃材処理、後片付けは適正に行ってください。

写真撮影のポイント

- ・ 工事完了が確認できよう、着手前写真の場所と撮影方向を合わせて状況写真を撮影してください。
- ・ 標識（8号又は9号）及び工事看板を入れて写真撮影を行ってください。

その他工種の写真について

1 駐車場仕様にする場合(車両荷重が想定される場合)

各メーカーの施工要領、仕様書、構造図、配筋図等により工事が適切に行われたことが確認できる写真を追加してください。

2 自然流下で処理水を放流できない場合

ポンプが設置されていることが確認できる写真を追加してください。

3 マンホール蓋の嵩上げ高が30cmを超える場合

各メーカーの施工要領、仕様書、構造図、配筋図等により工事が適切に行われたことが確認できる写真を追加してください。

4 その他特殊な工事を実施する場合

その他特殊な工事を実施する時は事前に下水道課まで、ご相談ください。

その他注意点について

1 マニユアルの注意点について

補助事業の交付にあたり、基本的な写真の撮り方について明記しています。

それ以外(圧送ポンプ等)の施工がある場合は必要に応じて追加の写真提出をお願いします。

(不足等がある場合は追加で写真提出をお願いする場合があります。)

また、疑問点がある場合は、真岡市下水道課業務係に問い合わせを、お願いします。

なお、基準を満たしていない又は、施工不良等が確認された場合は、補助事業の取り消しとなる場合もありますので、注意をして施工を進めてください。

2 放流先について

公共の道路側溝等に放流する場合は、道路管理者へ協議と申請を必ずしてください。

土地改良区排水路への放流については各土地改良区の許可(同意)も必要になりますので、協議と申請を必ずしてください。

3 既製底板コンクリートの使用について

既製底板コンクリート(以下、PC板)を使用する場合、必要写真が以下のとおりになりますので、注意してください。

・設置状況の写真として、「PC板の確認写真(PC板を設置する前に、地上に置いた状態でメーカー名・PC板の寸法が確認できるもの)」「PC板の設置写真(水平器でPC板の水平設置が確認できるもの)」が必要になりますので必ず撮影してください。

写真撮影 チェックリスト(浄化槽設置工事)

R6.9.20更新

本体工事の写真		注意事項等	申請者 確認	市 確認
1	着工前	設備士が必ず入り、標識(黒板等)を明確に撮影		
2	浄化槽本体	浄化槽の型式が分かるように撮影		
3	床堀工	全体が写っていて、スケール等で掘削深が確認できる		
4	基礎砕石状況	スケール等で仕上り面の高さが確認できる 基礎砕石等の仕上り厚が確認できる		
5	捨てコンクリート打設状況	スケール等で仕上り面の高さが確認できる 捨てコンクリートの仕上り厚が確認できる ※PC板を使用する場合は任意施工		
6	基礎コンクリート打設前配筋状況 (※現場打ちコンクリートの場合)	型枠の高さがスケール等で確認できる 鉄筋の間隔がスケール等で確認できる スペーサーの設置が確認できる		
7	基礎コンクリート打設状況 (※現場打ちコンクリートの場合)	スケール等で仕上り面までの高さが確認できる 仕上りの長さ、幅、高さが確認できる		
8	PC板本体 (※PC板使用の場合)	全体を撮影 側面に記載されている寸法が分かるように撮影		
9	PC板据付状況 (※PC板使用の場合)	スケール等で長さ、幅、高さが確認できる		
		水平であることが確認できる (水平器を接写し、気泡が確認できる)		
10	浄化槽据付・水張り状況	据付時の水張り状況が確認できる		
		水平であることが確認できる (水平器を接写し、気泡が確認できる)		
11	浄化槽埋戻し状況			
11- 1	(1)水締め	水締め状況が確認できる		
11- 2	(2)転圧状況	適切な転圧が確認できる(機械での転圧を確認)		
12	上部スラブコンクリート配筋状況	鉄筋の間隔がスケール等で確認できる		
13	上部スラブコンクリート完成状況	仕上りの長さ、幅、厚さが確認できる		
14	マンホール蓋嵩上げ状況	スケール等で嵩上げ高が確認できる		
15	ブロー設置状況	ブロー設置が確認できる		
		維持管理業者の名称・連絡先が確認できる		
16	工事完成写真	標識(黒板等)を明確に撮影		
17	敷地内処理装置接続状況	敷地内処理装置に接続が確認できる(施工前、施工中、施工後撮影) ※敷地内処理装置を設置した場合		
18	放流先への接続状況	側溝、水路等及び既設管への排水管又は桝の接続 状況が確認できる		

写真撮影 チェックリスト(転換工事・宅内配管工事)

R6.9.20更新

単独浄化槽・汲取り槽を撤去する場合		注意事項等	申請者 確認	市 確認
1	撤去前	撤去するものが確認できる		
2	し尿の引抜き状況	し尿の引抜きが工事着手までに行われていない場合添付		
3	撤去中			
4	撤去物	掘起こし後、撤去物全体が写るように撮影		
5	運搬中	トラックに積載後撮影		
6	中間処理施設	処理施設の看板と運搬車が納まるように撮影		
7	撤去物の荷下ろし	処理施設内に荷下ろした状況が分かるように		
8	撤去後の現場写真	掘起こし後及び埋戻し後の2枚必要		

単独浄化槽・汲取り槽が撤去不可の場合		注意事項等	申請者 確認	市 確認
1	撤去前	撤去するものが分かるように撮影		
2	既設槽の穴あけ状況			
3	既設槽の消毒状況	使用した消毒剤が分かるように写真内に収めること		
4	既設槽埋戻し状況			
5	撤去後の現場写真	埋戻し後の写真を添付		

宅内配管補助の写真 (宅内配管補助を受ける場合)		注意事項等	申請者 確認	市 確認
1	工事施工前写真	新設する配管場所の全景写真の撮影		
2	排水管・排水桝の設置状況	新設した排水管・排水桝が露出した状況で、 すべて撮影する (複数枚になっても可)		
3	排水管・排水桝の埋設後の写真	浄化槽と桝蓋が写るように撮影		
4	敷地内処理装置への接続状況	敷地内処理装置に接続が確認できるように ※敷地内処理装置を設置した場合		
5	放流先への接続状況	側溝及び既設管等への排水管又は桝の接続状況が確認できるもの		